



新機能および変更情報

Cisco DCNM Release 5.2 以降、Cisco Fabric Manager と Cisco Data Center Network Manager for LAN は、Cisco Data Center Network Manager (DCNM) と呼ばれる 1 つの製品に統合されており、LAN 環境と SAN 環境の両方を管理できるようになっています。この製品統合の一環として、Cisco Fabric Manager という名前は Cisco DCNM for SAN に変更されました。

次の文書変更によって、統合された Cisco DCNM 製品がサポートされます。

- Cisco DCNM Release 5.2 の Cisco DCNM 製品のマニュアルのタイトルは、『Cisco DCNM for LAN』に変更されました。
- Cisco DCNM Release 5.2 の Cisco Fabric Manager 製品のマニュアルのタイトルは、『Cisco DCNM for SAN』に変更されました。
- Cisco DCNM for SAN 製品のマニュアルが、次の URL にある Cisco.com の Data Center Network Manager リスト ページで公開されました。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps9369/tsd_products_support_configure.html

この URL は、Cisco DCNM for LAN 製品マニュアルのリスト ページと同じです。

- Cisco DCNM Release 5.2 より以前のソフトウェア リリースの Cisco Fabric Manager のマニュアルは、Cisco Fabric Manager という名前を使用し続けており、次の URL にある既存の Cisco.com リスト ページで引き続き入手できます。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps10495/tsd_products_support_configure.html

Cisco DCNM Release 5.2 よりも前のリリースの Cisco Fabric Manager ソフトウェアを使用する場合は、引き続き、Cisco Fabric Manager のマニュアルを使用する必要があります。

- Cisco Data Center Network Manager のユーザ インターフェイスでは、DCNM-SAN という名前が Cisco DCNM for SAN の代わりに使用されます。同様に、DCNM-LAN という名前が、ユーザ インターフェイスで、Cisco DCNM for LAN の代わりに使用されます。ユーザ インターフェイスと合わせるために、製品マニュアルでも DCNM-SAN および DCNM-LAN という名前が使用されています。
- 次の新しい資料は、Cisco DCNM for LAN と DCNM for SAN の両方に対応しており、Cisco DCNM の新しいライセンス モデル、新しいインストール プロセス、および新しい機能が説明されています。
 - 『Cisco DCNM Installation and Licensing Guide』
 - 『Cisco DCNM Release Notes』

Cisco DCNM のマニュアルの全リストについては、「はじめに」の「関連資料」を参照してください。

この章では、『Cisco DCNM for LAN, Release 6.x システム管理コンフィギュレーションガイド』に記載されている新機能および変更された機能について、リリース固有の情報を示します。このマニュアルの最新バージョンは、次のシスコ Web サイトから入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps9369/tsd_products_support_series_home.html

Cisco Data Center Network Management (DCNM) Release 6.x の詳細は、『Cisco DCNM Release Notes, Release 6.x』を参照してください。

表 1 では、『Cisco DCNM for LAN, Release 6.x システム管理コンフィギュレーションガイド』における新機能および変更された機能を要約し、その参照先を示しています。

表 1 リリース 6.x の新機能および変更された機能

機能	説明	変更されたリリース	参照先
コンフィギュレーション配信テンプレート	Cisco DCNM Release 6.1(1) から、テンプレートを使用するジョブ用のテンプレートを作成できるようになりました。	6.1(1)	第 9 章「コンフィギュレーション配信管理の使用」
コンフィギュレーション変更管理	Cisco Nexus 3000 シリーズ スイッチにサポートが拡張されました。	5.2(1)	第 8 章「コンフィギュレーション変更管理の使用」
コンフィギュレーション配信管理：テンプレートの拡張	Cisco DCNM クライアントでコンフィギュレーション配信テンプレートが拡張されました。	5.2(1)	第 9 章「コンフィギュレーション配信管理の使用」
インベントリ	Cisco Nexus 3000 シリーズ スイッチにサポートが拡張されました。	5.2(1)	第 3 章「インベントリの使用」
ラインカードのリロード	スイッチ内の他のコンポーネントの動作状態に影響を与えることなく、デバイス内の任意のラインカードを個別に再起動することができます。	5.2(1)	第 3 章「インベントリの使用」
モジュール事前プロビジョニング	新規のモジュール、またはスイッチに存在するオフライン状態のモジュールを事前プロビジョニングすることができます。この機能は、Cisco 5000 シリーズ プラットフォームでのみサポートされています。	5.2(1)	第 3 章「インベントリの使用」
SPAN	Cisco Nexus 3000 シリーズ スイッチにサポートが拡張されました。	5.2(1)	第 3 章「インベントリの使用」
スイッチ プロファイル	Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチにサポートが拡張されました。	5.2(1)	第 8 章「コンフィギュレーション変更管理の使用」
コンフィギュレーション配信管理	コンフィギュレーション配信テンプレートは、Cisco DCNM クライアントでサポートされています。	5.1(1)	第 9 章「コンフィギュレーション配信管理の使用」
LLDP	Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチの個々のインターフェイスにリンク層検出プロトコル (LLDP) を設定できます。	5.1(1)	第 6 章「LLDP の設定」
コンフィギュレーション変更管理	Cisco Nexus シリーズのすべての管理対象スイッチにサポートが拡張されました。	5.0(2)	第 8 章「コンフィギュレーション変更管理の使用」
コンフィギュレーション配信管理	この機能が導入されました。	5.0(2)	第 9 章「コンフィギュレーション配信管理の使用」
デバイス OS 管理	Cisco Nexus 4000 シリーズ スイッチと Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチにサポートが追加されました。	5.0(2)	第 7 章「デバイス オペレーティング システムの管理」
LLDP	リンク層検出プロトコル (LLDP) を設定して、デバイスに接続しているサーバを検出できます。	5.0(2)	第 6 章「LLDP の設定」

表 1 リリース 6.x の新機能および変更された機能 (続き)

機能	説明	変更されたリリース	参照先
電力消費量	管理対象 Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチの電力消費量情報を表示できます。	5.0(2)	第 3 章 「インベントリの使用」
仮想スイッチ	仮想スイッチ ドメインとサーバ接続を設定できます。	5.0(2)	第 4 章 「仮想スイッチの管理」

Cisco DCNM のマニュアルの全リストについては、「はじめに」の「関連資料」を参照してください。

